

令和5年度第2回三重県人口減少対策推進会議 概要

- 1 開催日時：令和5年8月2日（水）15時45分～16時00分
- 2 議事概要：以下のとおり

（後田政策企画部長）

- ・ それでは令和5年度第2回三重県人口減少対策推進本部会議を開催する。
- ・ 本日の会議では、これまで検討を進めてきた三重県人口減少対策方針についてご確認いただきたいと考えている。
- ・ 事務局から説明をさせていただく。

※資料1～2について、事務局（坂本人口減少対策課長）から説明

（後田政策企画部長）

- ・ 三重県人口減少対策方針を資料2のとおり策定することとする。

（一見知事）

- ・ 本県では、昨年4月に人口減少対策課を新設し、先進事例の調査等を行ってきた。人口減少に特化した計画は恐らく本県が初めてであると思う。
- ・ 方針を作成する中でわかったことが二点ある。一点目は人口減少対策に特効薬はなく、地道な努力を積み重ねるしかないということである。人口減少対策に関連する産業政策、環境政策、教育政策、観光政策、公共事業政策、防災対策、医療政策、デジタル政策といったあらゆる政策を実行に移していく必要がある。今後各部局のご協力をお願いしたい。
- ・ 二点目は方針を公表するということは退路を断つということであり、三重県としてはしっかり取り組んでいくしかないということである。日本全体もそのような雰囲気になっており、これまでの成果による他県へのリードを維持していくには各部局の努力が必要である。
- ・ 研究していく中で若い女性の流出が多いことが判明した。本県の人口構成において15～29歳の女性は全体の6%に過ぎないが、年間の県外への転出超過数約4000人のうち約2000人が15～29歳であり、全体の半分を占めている。その結果、1980年における50歳時の男性の未婚割合は1.9%であったのに対し、2020年においては25%となった。また、女性が流出していくことでなかなか結婚できない人が多くなり、こどもも増えないという問題も生じる。1972年における完結出生児数は2.2であるのに対し2021年では1.9とほぼ横ばいであり、結婚している夫婦に生まれるこどもの数は実はあまり変わっていない。つまり、結婚できないことがこどもが増えないことに繋がっているのであり、その対応を行っていかなければならないということである。
- ・ 出会いサポートについては様々なご批判もいただいている。先日参加した全国知事会で、AIを活用して結婚の成果を挙げた県や、共通の趣味を通じて若い男女がカップリングできるような街コンを行って喜ばれたという県の事例があった。
- ・ これから取り組むべきことが明らかになったという点においても人口減少対策方針をまとめたことには大きな意味があった。
- ・ 資料4の中央に「知事」と記載されているが、三重県全体で対策に取り組んでいただきたいので、「三重県庁」へと修正をお願いしたい。
- ・ 引き続き人口減少対策の実行へ向けてご協力をお願いしたい。

（後田政策企画部長）

- ・ 各部局におかれては方針に基づき引き続きご協力をお願いしたい。